

問い合わせを増やすためにすぐにやるべき事 (解説)

A、HP (ホームページ) 上の工夫

下記は見込み会員の立場を考慮して、検索動作の流れでまとめてみました (1~3 項)。
HP 作りには、インターネットの仕組み (アルゴリズム) を理解する必要があります

1, 検索開始段階 1 (キーワード検索)

・見込み会員の心理と動作①

「近くに合気道教室が無いかな・・・」

駅名 or 地区名+合気道 or 合気道教室でインプットしてみようっと」

ポイント①大多数は「合気道」でインプットします。(学校で教えられた漢字です)

「合気道」では一般的にインプットしません。(学校で教えてはいません)

②上記の結果「合気道」と書かれた HP が上位に表示されます。

入力した漢字に対して検索結果が表示されます。

③もちろん「合気道」も出て来ますが、表示順位はかなり低くなります。

・この時の検索エンジン (ツール) の検索結果 アルゴリズム①

顧客が入れた「あいきどう」は変換順位一位の「合気道」を表示します。

コンピュータの中では「合気道」は全く別物です。

HP 上の文字の大きさや色などは関係ありません。

作成された HP のタイトル周りが大切。

※タイトル周りがあると検索されやすいです。

2, 検索開始段階 2 (検索画面がいろいろ表示された段階)

・見込み会員の心理と動作②

「パソコンにいろいろな HP が表示されたけど、初めの 1 ページか 2 ページ見たら良いかな・・・」 「1 ページ目の上位に表示されるところが信頼高そうだな」

ポイント：検索画面上で 1 ページ目に出るかが勝負。それもできるだけ上位に表示されることが望ましい。

必要なキーワードをいくつか紛らわしておくことと検索にひっかけやすい。

検索結果画面の 1~2 ページ目に、自身の HP 及び関連情報が複数表示されると目につきやすく印象に残りやすい。

- ・この時の検索エンジン（ツール）の動き アルゴリズム②
人が欲しいと思う情報（検索数が多いもの）ほど上位に表示する。

3, 検索 HP 内容の確認段階

見込み会員の心理と動作③

「具体的には何処で・何曜日に・何を・何時から・会費は・問い合わせ先は？」
が確認したい内容。いわゆる 5W1H

ポイント：この内容をシンプルに提示すること

探しにくい、わかりにくいと他の HP へ移って行ってしまいます。

クリック操作数を少なく、複雑にしない事、HP 階層を深くしない事
相手に時間を取らせない事。

4, 心身統一合気道会（いわゆる本部の）HP の URL をリンク先として HP に表示しましょう。

効果として本部 HP のアクセス増加、各道場・教室へのアクセス増加が期待できます。

結果、本部 HP の検索順位が上がります。

全道場、教室がリンクすれば相当な相乗効果を生むはずです。

B, HP ができたら

- ① PC だけでなくスマホでの見やすさも工夫しましょう。現在はスマホで検索する人が多いです。
- ② 定期的に検索結果をチェックしましょう。表示順位が低かったり、変わってくる事があります。原因を調査し、場合によっては対策を打ちましょう。

C, ★HP 以上に重要なモノ

それは、グーグルビジネス・マップへの登録です。

現在、検索ツールで最も力があるのがグーグルです。そしてグーグルビジネス・マップは地図上に場所を特定できるだけでなく、各種情報を掲載できます。今、最もすぐれた無料の PR 手段です。

D, その他 HP 上での工夫

- ① Facebook、ユチューブ等の SNS と連動する。
一般に HP は情報の追加・改訂が遅いです。SNS と連動することでその HP が活性化（新しい情報・ニュース表示など）していることを示せます。
- ② 一般的に、「責任者の顔が見える」と良いと言われています。
- ③ できれば無料の検索サイトへの登録を数件すると良い。
例えば、「習い事サイト」等々。

E,★やってはいけない事

HP 上に隠し文字を入れない事

例：HP 上の白地（または黒地）に白文字（または黒文字）で「合気道」と表示させない事。
コンピュータは人間が見えていなくても検索します。

この手法は、HP 順位を下げてしまう危険性があります。

過去は許されたようですが、犯罪に使われることが増えたため、現在は禁止行為となっています。具体的には各（グーグルや Yahoo 等の）検索エンジン（ツール）が SEO スпам（不正行為）とみなし、順位を下げる処置をします。要するに検索されにくくする処置を行います。

当会のコンプライアンス上も、この行為は天地の理に反して好ましくありません。

補足：HP でなんでもかんでも、出しすぎ、説明しすぎは、場合により良くないです。

顧客心理とすれば早く、必要な検索結果を知りたいのです。そこに早く到達させてあげることがまず必要です。

以上